

# センター紹介 (社)指宿市シルバー人材センター

## 野菜販売・刃物研ぎ・知林ヶ島ガイド業務委託など

### 活動の幅を広げる

指宿市は、薩摩半島南端に位置し、美しい自然や豊かな資源に恵まれた温泉観光地です。中央部には九州最大の湖「池田湖」が清らかな水をたたえ、南には薩摩富士と呼ばれる開聞岳がそびえています。その裾野に開聞山麓公園、そうめん流しの唐船峡、長崎鼻、フラワーパーク鹿児島と続いています。フラワーパークには、毎日午前中トイレ清掃に二名の派遣会員が勤務しております。

南東には、うなぎ池や天然の良港・山川港があり、鯉節製造が盛んに行われています。そして、東には砂むし温泉や豊かな温泉郷、知林ヶ島が位置します。干潮時に徒歩で渡る知林ヶ島の砂州が有名で大勢のカップルが縁結びのため訪れます。委託事業として市役所観光課より「知林ヶ島ガイド委託業務」を請け負い、毎月二十日間(一日三時間)六名の会員さんがローテーション就業しております。

本市では毎年「いぶすき菜の花マラソン」が開催され、今年で二十七



回を迎えました。この大会には、一万五千人ものランナーが全国各地から参加します。そして、黄色い絨毯を敷き詰めた様に菜の花が咲き誇る新春をランナーが駆け抜けます。二千人を超えるボランティアが大会を支えるとともに、沿道では市民の皆さんが、手作りのぜんざいやかかし芋、温かいお茶などを振る舞うことから、「おもてなしマラソン」とも呼ばれている大会です。大会の準備として、センターでは、ホテルからの委託で沿道の旗たての仕事に十五日間程就業しています。

観光産業はもちろんですが、オクラ・ソラマメ・エンドウ豆等の栽培も盛んで農作業支援として、繁忙期になるとシルバーの会員さんの応援が必要不可欠な存在となっております。

当センターは、平成十八年一月一日の指宿市・山川町・開聞町合併に伴い指宿市と山川町の二センターが平成十八年四月一日に統合し指宿本所と山川支所という新たな体制のもと、互いに交流を深めながら事業活動を推進しています。

### センター事業の特色

近年、補助金の削減並びに事業実績の低迷のため、センターの事業

運営がますます厳しさを増す中で、センターの特色を生かした独自事業はないだろうか検討した結果、平成十九年度より、比較的人の往来が多い、市役所公用車庫内の常設資源ごみ収集所にて「百円均一・無人手作り野菜売場」を開設いたしました。機動力を生かすために、軽トラックの荷台に手作りの箱を設置し、イベント等に容易に参加できるようにいつでもどこでも移動可能な状態にしてあります。



なお、陳列ケースに希望する会員名を表示し、現在十三名の会員さんが登録しております。商品につきましては、会員さん自身で管理をするようにお願いしております。野菜売上金の管理については、会員ごとにお金を投入する小箱が置いてあり、センター職員がそれを集金に行き各会員に配分しております。おかげさまで、順調に実績を伸ばしており、今後に期待がもてる事業として育っております。他には、平成二十年度より「刃物研ぎ」事業を開設しました。センター隣接地にテントを設置し、第二・第四曜日、一ヶ月あたり二日間、二名の会員さんでスタートしました。おかげさまで、「よく切れるようになった。今まで頼むと

ころがなくて困っていた。」という評判を得て、市民の皆様に好評を得ています。これらの事業を契機に、センターの存在が指宿市民に浸透することで、剪定・除草・清掃等の就業・受注に繋がっていったらと期待をしているところです。

### 活性化計画

シルバー事業は、「自主・自立、共働・共助」の精神で会員自らが育てる事業です。会員主体のセンター事業の強化を図るために、「一人一件、受注運動」を展開することにより活性化を図り、地域班長会議等を通じて全会員に周知し、事業活性化の協力を依頼しております。



### 互助会活動



会員互助会によるボランティア活動として毎年一回九月末に指宿市主催のクリーン指宿に参加し海岸清掃を実施、普及啓発を目的として指宿温泉祭り踊り連の参加、会員の融和と連帯感の高揚を目的としてクラウドゴルフ大会、研修旅行、役者が揃った交流忘年会等を実施することにより、互助会役員を中心として活動しております。

